

日刊 動労千葉

86. 8. 22

No. 2326

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

全日上映
第21弾

7:30

国労の仲間・家族が 中心となって 秋田上映会成功す

定期大会で取り組みを決定

△国労秋田電力区分会▽

秋田における上映会は、国労秋田電力区分会が定期大会での取り組みを決定したことで、分会が他の国労分会によりかけるという形で、画期的な開催となりました。

上映会の企画については、地元新聞の「さきがけ」や「読売」にも紹介記事が掲載されたほか、県内著名五氏の賛同を始め、国労内の有志の多くが賛同しました。

民間では、日赤病院労組・コープケミカル労組・あさひタクシー労組などが入場整理券を現金で購入し、ポスターが掲示されるなど、動労千葉ストライキの「威力」が発揮されました。

国労4分会から仲間・家族が参加 — 熱心な討論 —

当日の上映会には、中心となった電力区分会組合員を先頭に、国労4分会の仲

間・家族が結集し、「分割・民営化を絶対に阻止するぞ」「そのためには今こそ国労ストを闘いとうろろ」という熱気あふれるものとなりました。

特に、上映会が終了後も参加者のほとんどは帰らないで、国鉄分割・民営化を許すな！もっと上映会の輪を拡げよう！という討論が各氏からだされ、国鉄労働者の不屈の闘いへの期待が示されました。

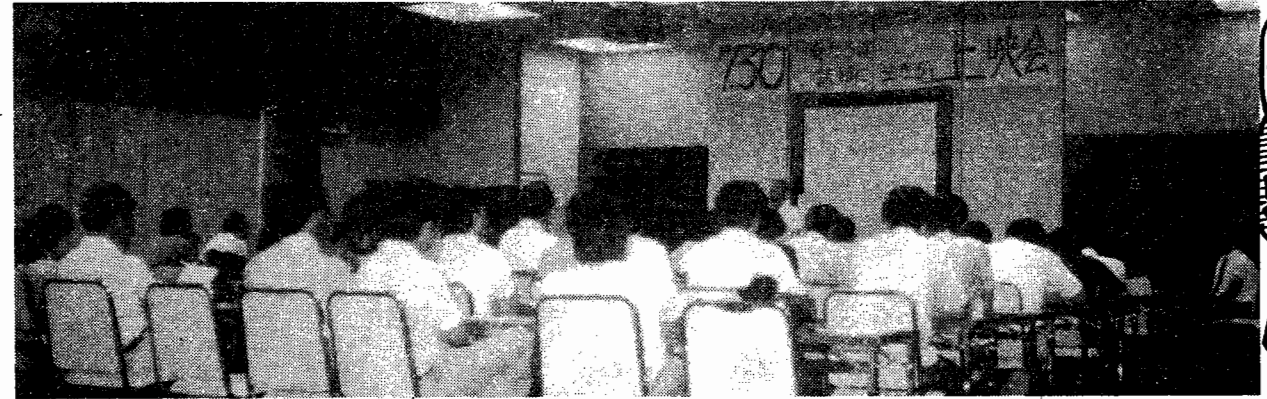
国労ストライキめざして がんばる

動労千葉を代表して、特別執行委員・重見敏夫氏から挨拶と国鉄をめぐる情勢、十一月決戦に臨む決意が示されました。

この七・三〇上映会を足がかりに、国労の闘う仲間は、本格的に「国労ストライキ」へ進んでいます。その意味で、俺達は「鉄路に生きる」という「闘いの歩み」は、過去のことではなく、今この時何をなすべきかを鋭く提起しているものだと思います。（寄稿・秋田上映委員会）

成田地区上映会
8月29日(金) 午後6時 成田市・商工会館

銚子地区上映会
9月2日(火) 午後6時 銚子市・青少年文化会館



夏季物販 一見ガンバロー!!

目標達成まで

協販部によせられた全国の仲間からの注文と激励

動労千葉のみなさん
夏期販売がようやくまとまりましたので、郵便振替で送金します。ほかの組合は30名たらずの組合ですが、動労千葉を知らない人はおらずほとんどが快く応じてくれました。中には動労千葉＝ゲリラという愛想の人もありましたが、人間関係をたいやんこで協力してくれました。

今後ますます斗いは厳しくなり、中曽根は動労千葉解体のために全体制をかけてくるでしょう。しかし1100名の団結があり斗いがあるかぎり絶対だいたいぶります。だいたいぶらぶらぶらぶら、動労千葉によって中曽根は倒れおぼろげになりません。

国鉄決戦勝利、三里塚斗争勝利にむけ共に闘っていきましょう。

送金先、ごきりだけ早く送ってください。